

特定非営利活動法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
2019年度事業報告書

1 事業の成果

私たちは今まで、高齢者や障がいのある人の外出を支援してきました。病院での付添介助、また、ある時はいっしょに出かけ買い物や食事を楽しむことも、その人が自分らしく生きるための大切な支援として関わってきました。しかし、現状はどうでしょう。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う措置として、不要不急の外出を自粛することが求められ、そして、それが最大の予防策でもあります。

私たちが今、直面する課題の1つは、通院せざるを得ない人の支援とどう向き合うかです。地域の中核病院で医療従事者のクラスター感染が次々とおこる中でも、通院の需要がなくなる訳ではありません。感染予防のための準備も不足する状況で、そのサービス依頼を受けるのか、断ることが出来るのか、安全基準の指針を持たない私たちは日々その葛藤の中にいます。

もう1つは、外出自粛によるサービス依頼の減少です。多くの団体が事業減少の傾向にあり、この状況からの出口が見えないところで、運営の不安も大きくなりつつあります。私たちもまた、かつて経験のない事態に不安を覚えています。

しかし、社会は大きく変わろうとしています。これからの社会は、今までの概念を覆すと言われていています。テレワークの浸透で在宅ワークが定着し、公共交通のあり方も一変するという声もあります。しかし、支援を必要とする高齢者や、障がいのある人がいなくなることはありません。外出自粛の中で閉じこもりがちとなって心身ともに不安を抱える多くの人たちには、今後、利用者寄り添う移動サービスが、一層大切なものになるはずで

さまざま困難を抱えながらも、私たちは設立の趣旨に立ち返り、支援の必要な移動困難者の外出支援を続けていきます。そのために、困難な現状を共有し、より一層力を合わせネットワークの力を活かして、この事態を乗り切っていきましょう。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①移動サービスに関する相談対応や情報提供等の支援事業

ア 利用者相談窓口事業、普及啓発事業

【内容】

①相談事業

(1) 利用相談

電話・メール・FAX等により、外出支援のサービスを利用したい方からの多様な相談に対応しました。自治体から紹介を受けてご本人や家族から相談されるケースや、ケアマネジャーや相談支援員からはホームページや福祉有償運送&UDタクシーを紹介したチラシ「もっと使おうUDタクシー」を目にして相談されるケースも増えています。相談に対しては、丁寧に状況を聞き取り、お住まいの地域で活動する福祉有償運送団体やタクシー事業者を紹介し、相談者の要望に応じた外出手段が提供できるように努めています。

(2) 団体支援

福祉有償運送団体の登録・更新や変更登録に関する相談に応じました。料金の設定方法やボランティア持ち込み車両の保険についてなど、福祉有償運送の法律制度に関することの他に、団体の組織運営方法や担い手の確保についての相談など、電話やメール、対面で対応しました。今後も困ったときに頼りになる相談窓口として機能するよう努めたいと思います。

②移動サービスの周知・推進

(1) 移動サービス研修会・意見交換会（神奈川県共催）

2012年から毎年開催してきた移動サービスに関する意見交換会は、今回で9回目となりました。今回も神奈川県地域福祉課との共催で、県内6箇所で開催しました。福祉有償運送の周知と推進を図ることを目的に開催しており、毎年、新しいメンバー（包括支援センター相談員、ケアマネジャー、生活支援コーディネーター、民生委員、自治体職員等）の参加があり、移動サービスの普及啓発の場となっています。

＜2019年度福祉有償運送制度に関する研修会・外出支援サービス学習会開催状況＞

第1部 福祉有償運送制度研修会

講師：かながわ福祉移動サービスネットワーク理事長、事務局長

関東運輸局神奈川運輸支局輸送担当専門官

第2部 グループに分かれて意見交換会

日程	地区	会場	参加人数
7/24 (水)	相模原市	ウェルネス相模原	17人
10/8 (火)	横浜市・川崎市	横浜市庁舎関内中央ビル	42人
12/25 (水)	県西地区	松田町役場	16人
1/27 (月)	横須賀・三浦地区	葉山町役場	22人
2/3 (月)	県央・大和地区	サニープレイス座間	17人
2/19 (水)	湘南東部・西部地区	二宮町民センター	8人

(2) 県内の各自治体・福祉有償運送担当事務局を対象とした学習会

神奈川県地域福祉課主宰の「福祉有償運送制度説明会」(5/9開催)において、市町村職員、保健福祉事務所・センター職員に向け、福祉有償運送の現状等について報告・講演しました。新しく福祉有償運送の担当になった自治体職員への制度の理解と、実際の活動の様子や課題等を共有する機会となりました。

(3) 移動サービス事業の推進・さまざまなモデルづくり（住民でつくる外出支援の推進事業）

① 地域の活動の支援

- ・逗子市高齢福祉課主催生活支援コーディネーターとの学習検討会(6/28)
- ・愛川町主催学習会(7/29)
- ・横浜市南区六ッ川地域ケアプラザ・永田地域ケアプラザ
「みんなでわいわい地域のお出かけを考える会議」(4/6、6/8)
- ・横浜市保土ヶ谷区仏向ケアプラザ運転研修、その他相談対応(8/17、11/9)
- ・横浜市栄区野七里ケアプラザ「地域の外出支援を考える学習会」(10/1)
- ・二宮町2層協議会「移動・外出専門部会」相談対応
- ・逗子ハイランド自治会相談対応
- ・共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業に係る区市等の情報共有・意見交換会アドバイザー、講師等(神奈川県共生社会推進課主催)及び秦野市、小田原市、平塚市、茅ヶ崎市、綾瀬市で事業を推進する団体等の相談対応(視察先の選定と連絡調整、勉強会、研修等)

② 県外の相談支援・講師派遣等

- ・くらしの足むつぎわ(千葉県睦沢町)相談対応、運転メンバーの研修(1/6)
- ・那須クロスロード振興会(3/15)学習会
- ・静岡県長泉町社会福祉協議会(7/12)学習会
- ・静岡県浜松市南区地域向上事業「南区の地域包括ケアを考える」(7/13)
- ・静岡県御殿場地域福祉推進委員会主催御殿場地区社協学習会(2/17)
- ・静岡県小山町社会福祉協議会相談対応
- ・兵庫県相生町相談対応
- ・秋田県由利本荘市相談対応

③ その他の学習会・活動等

- ・横浜市戸塚区港南区社会福祉協議会学習会 移動支援の現状と今後(11/26)

- ・いま、「協同」が創る 2019 全国集会 in 神奈川（分科会 11/30）
- ・国立市福祉有償運送運営協議会(11/18)
- ・国立市「この先の福祉交通を考えるシンポジウム」（11/27）
- ・地域科学研究会講演会(9/10)
- ・福祉クラブ生活協同組合 W. Co ゆいまーる学習会(12/21)
- ・十思カフェ（東京都中央区市民活動センター主催）（1/28）

(4) 福祉と交通の連携

・「共生社会仕組みづくり外出支援モデル事業」（神奈川県地域共生社会推進課）において、アドバイザーとして参加し、県市の情報交換や意見交換の場において国の動きや他自治体の先駆的な情報を提供しました。また県の研究会の設置にあたっては横断的な組織づくりを提案するなど自治体の福祉と交通の連携に向け、様々な情報提供を行いました。

・横浜市交通政策推進協議会委員・地域交通部会委員として、移動サービスを推進する立場から横浜市における地域交通政策の推進に努めました。

・会員団体や、相談を受け支援を継続中の自治体や社会福祉協議会、生活支援コーディネーター等に、国交省が「交通」と「福祉」が重なる現場の日に向け、10月に公開した「高齢者の移動手段を確保するための制度・事業モデルパンフレット」の情報提供を行いました。

(5) 「かながわ福祉輸送情報 NPO&TAXI」の情報の更新と相談対応

各団体に掲載情報の更新の有無を確認する作業を行い、最新情報の掲載に努めましたが、未掲載の団体への働きかけができませんでした。

(6) バリアフリーフェスタかながわ 2019 への協力

今年度も、11/2 に横浜新都市ビル(そごう横浜店)で開催された、神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催の「バリアフリーフェスタかながわ 2019」に参加しました。フェスタの開催に向けては県内有志団体のネットワークによる実行委員会に参加し、企画や準備を行いました。当日は、横浜交通まちづくり協議会と共催のブースで福祉有償運送やかれんタクシーの活動紹介を行いました。

(7) 送迎ボランティア養成研修の開催支援

- ①川崎市宮前区社会福祉協議会主催「買物支援ボランティア学習会」
- ②小田原市片浦地区まちづくり委員会「移動支援サービス講習会」（11/27、1/18）
- ③茅ヶ崎市添乗ボランティア学習会(1/31)
- ④金谷応援隊運転サポーター学習会（静岡県島田市）（10/10）
- ⑤くらしの足むつざわ（千葉県睦沢町）運転者研修(1/6)

(8) 各団体との連携活動

- ・横浜交通まちづくり協議会に委員を派遣しました。
- ・神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会移動サービス部門会議に出席し、移動サービスを取り巻く社会状況や制度について、また、自治体への働きかけや生活支援サービスへの取り組みの進捗の情報を共有できました。
- ・神奈川県タクシー協会
UD ドライバー研修の講師として協力しました。
- ・特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会と活動を共有しました。

(9) 関東運輸局地域公共交通マイスターの活動

県内外の研修会等での講演・アドバイスに努めました。

【日 時】	通年
【場 所】	当法人事務所、神奈川県内、相談・講師派遣・研修開催支援は全国
【従事者人員】	11 名
【受益対象者】	県民、移動困難者、移動サービス提供者
【支出額】	2,187,795 円

イ 綾瀬市福祉支援団体交流室運営事業

【内 容】

福祉団体運営相談・支援及び人材育成事業、地域課題解決等を協同事業として活動しました。

①福祉有償運送事業を担う団体の立上げ支援を行いました。利用者に必要なサービスを把握するコーディネート力、地域に貢献するというミッションの共有、ケアマネ・施設管理者・支援団体等との今後の連携を視野に入れ、人材育成を含めた支援をしてきました。

9月7日『NPO法人おでかけ綾瀬』設立総会開催。メンバー12名で設立

2月6日『県央地区福祉有償運送運営協議会』にて協議が調い、3月17日運輸局の登録完了。

②あやせ地域づくりカレッジの開催

*人材育成を目的として広く市民に参加を広報し、18名の参加で計6回の連続講座を実施しました。地域での実践につながるよう、講座、フィールドワーク、ワークショップで構成しました。公開講座(2回)、フィールドワーク(2か所)、ワークショップ(2回)

③地域福祉課題解決セミナーの開催

*外出支援担い手養成講座の開催(6月29日、30日) 36人受講

*外出支援担い手養成講座の開催(11月16日、17日) 39人受講

地域の外出支援活動への参加に繋がりました。(1団体+3地域)

*特定地域での住民参加型無償の移動支援団体の発足支援

<吉岡買い物支援プロジェクト> 組織立ち上げと本格運行開始への支援を行いました。

・社会福祉法人『唐池学園』の協力を得て、10月15日に本格運行を開始。

<綾西みんなの足プロジェクト>

・学習会(6/24)「菊名おでかけバスに学ぶ地域の取り組み」の企画・実施(47名の参加)、また、5回の試験運行を実施し、次年度に向けての助言、支援を継続して行っている。

・「NPO法人おでかけ綾瀬」との連携・協力を呼びかけ、地域連携が進みました。

<寺尾南地区での動き>

・寺尾南地区社協運営の「サロンなごみ」への送迎の検討と、活動を進めるため地域で数回の説明会を開催。試験運行2回(12/6、1/24)実施しました。計13名参加

【日 時】 通年

【場 所】 当法人事務所、神奈川県内

【従事者人員】 11名

【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者

【支出額】 3,222,984円

ウ 相模原市高齢者移動支援推進モデル事業

①モデル地区への助言・相談支援

市内2か所のモデル地区である城山地区、麻溝地区において、複数のコーディネーターを配置し、地域づくり部会を中心とした、会議・打合せ等に出席し、住民の支え合いによる移動支援創出を目指して活動しました。

城山地区においては、移動支援創出に積極的に取り組む「お出かけの“わ”委員会」とともに、サロンの利用者の送迎の実現に向けて、他地域の先進事例視察を提案し、中心となるメンバーや車両提供を申し出てくれた社会福祉法人の役員らと、川崎市麻生区「かないばら苑」と運転ボランティア「CAP」によるサロン送迎の視察を実施しました。また、活動における法制度の理解(登録不要の活動における留意点)、活動に必要な書類(サロン送迎に関する協定書、覚書、利用者規約等)の整備に向け、適宜アドバイスをを行いました。11月には町屋あけぼのサロンにおいて第1回試験運行を行い、その後3回の試験運行を経て、2月から本格運行する予定でしたが、2月以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために活動は休止となっています。

次の取り組みに向けては、市内外の先進事例や法律制度についての学習会開催を提案し、12月に

「お出かけの“わ”委員会」と城山助けあいセンター（あいあいセンター）コーディネーターも参加して、学習会「住民による支えあい・助けあいの移動・外出支援～法制度&全国各地の実践事例～」を開催しました。来年度も、「お出かけの“わ”委員会」メンバーを中心に新たな地域での移動支援創出に取り組みます。

麻溝地区は、地域づくり部会を中心に、ニーズ調査及び社会資源の把握を行うため、アンケートのたたき台を提示しました。委員会での合意を大切に、丁寧かつ慎重に議論を進め、12月にアンケート調査表の最終案と配布・回収方法の確認等を行いました。地域づくり部会が1月以降、各地域においてアンケート配布と回収を行い、390部のアンケートを回収することができました。回収したアンケート結果の集計と分析を行い、次年度は分析結果をもとに、移動支援のエリアと実施方法を検討し、地域づくり部会およびアンケートでボランティア活動に協力を申し出てくれた人たちとともに、セミナーや研修の開催、組織の立ち上げを実行していきます。

②各地域の関係者等への助言・相談

上溝地区

打合せへの参加及び電話やメールで相談に応じました。

他地域での担い手を組織する取り組みや様々な実践を紹介し、どのようなやり方が上溝地区の地域ニーズにふさわしいか、住民活動に負担の少ない方法は何かなど議論を深めました。今後については、部会で継続して話し合うことになりました。

新磯地区

すでに外出に関するアンケートを実施しており、次のステップとして、今後、実践をつくるためにどのように議論を進めていくか、地域づくり部会で組織作りについて考える機会とできるよう構成していきます。移動支援について全国の取り組みなどを紹介し、具体的な取り組みを進めていくこととします。

③総合事業訪問型サービスD実施モデルの検討

城山地区においては、登録不要の活動によるサロン送迎を実施、麻溝地区においてはニーズ調査の段階であり、総合事業訪問型サービスD実施モデルの検討にまでは至っていません。今後、相模原市の状況を踏まえて、県内外の事例等も参考に、情報収集していく予定です。

- 【日 時】 通年
- 【場 所】 当法人事務所、相模原市内
- 【従事者人員】 11名
- 【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
- 【支出額】 2,420,000円

②団体間の連携とネットワーク化を図り、移動サービスを推進する事業

ア 福祉有償運送運行管理者・リーダー研修

【内容】

3/16に海老名市文化会館にて開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止としました。今回の学習会では、あらためて福祉的な視点を持った安全運転の方法や、福祉車の車椅子の固定・扱いについて再確認するプログラムを準備していました。活動再開の折には、多くの団体のメンバーに受講してほしい研修です。

秦野市鶴巻地区で活動を始めた「送迎ボランティアおたすけ隊」から開催の希望があり、出前で少人数の運行管理学習会を開催しました。（NPO法人野の花ネットワーク主催）（3/16）

- 【日 時】 3月16日（中止）
- 【場 所】 海老名市文化会館（中止）
- 【従事者人員】 11名
- 【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
- 【支出額】 3,296円

イ かれんタクシー推進プロジェクト

【内容】

利用者、学校、NPO 団体、タクシー事業者、社会福祉協議会、自治体等が連携して活動しました。

● 横浜市

取り組みの周知に努めました。

パンフレットの作成・配布、ホームページの作成（7月）

港北区自立支援協議会での取り組み説明（11月）

横浜市障害福祉課の委託による UD タクシー試乗・体験乗車会の企画（3月／中止）

- ・試乗会の開催については、鶴見養護学校が週末の休校時に学校敷地を提供して下さることになっており、ニッサン、トヨタの車両提供をはじめ、様々な連携が生まれています。
- ・登録は累計で 65 件、うち 2019 年度は 18 件の登録がありました。
- ・また、問合せのうち、福祉有償運送を紹介した例もあり、相談機能を果たすこともできました。

● 川崎市

2019 年度より、川崎市の子育て支援を活動の中心とした NPO 法人はたらくらす（幸区）が、中心となってかれんタクシーを推進することになり、立ち上げ支援を行いました。県立鶴見養護学校の保護者、タクシー協会川崎支部、幸区社会福祉協議会とともに会議を持つことが出来ました。また、活動アピールを兼ねて、9/28（土）幸区コトニアガーデン新川崎において、UD タクシー試乗会を開催しました。

【日 時】 通年

【場 所】 横浜市内、川崎市内

【従事者人員】 40 名

【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者

【支出額】 0 円

③政策・制度の提言活動

ア 移動困難者の課題の解消に向けた政策提言

【内容】

・横浜市交通政策推進協議会・地域交通部会（部会長）・モビリティマネジメント部会（横浜市都市交通課主宰）に委員を派遣しました

福祉と交通の連携を具体的にするため、地域交通部会での学習会の開催を提案し、以下が開催されました。

① 大豆戸地域ケアプラザ包括支援センター保健師 稲田説子さん（9月）

② 東京大学教授 鎌田実先生（3月中止）

・神奈川県が 2018 年度に福祉タクシー車両導入促進補助金制度を福祉有償運送団体にも拡大しました。また新車の購入だけでなくリース車両も対象と柔軟に制度の見直しを図ったことは長年の連携と政策提言の成果でした。団体が制度を活用できるように情報の発信を行いました。

【日 時】 通年

【場 所】 当法人事務所

【従事者人員】 11 名

【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者

【支出額】 0 円

④研修事業

ア 国土交通省認定運転者講習

【内容】

(1) 独自事業

会員団体や自治体、社会福祉協議会等の協力を得て年 5 回開催しました

＜福祉有償運送運転者・セダン等運転者講習＞

第 1 回	5 月 18 日(土) 19 日(日)	海老名市総合福祉会館 2 階会議室	33 名修了
第 2 回	7 月 6 日(土) 7 日(日)	寒川町健康管理センター1 階多目的室	24 名修了
第 3 回	9 月 7 日(土) 8 日(日)	横須賀市立総合福祉会館 5 階視聴覚室	31 名修了
第 4 回	11 月 16 日(土) 17 日(日)	綾瀬市役所 6 階視聴覚室 綾瀬市保健福祉プラザ 多目的室	48 名修了
第 5 回	1 月 11 日(土) 12 日(日)	大和市保健福祉センター1 階検診室	19 名修了
第 6 回	3 月 22 日(日) 28 日(土)	ハーモニーみどり 多目的ホール	中止

昨年度より、会員団体の小田原福祉会潤生園が研修の認定機関となり、県西域での担い手養成に新たな道がひらかれました。県西域で受講を希望する受講生には、10 月に開催された小田原潤生園主催の研修を紹介しました。

(2) その他の国土交通省認定運転者講習の開催支援（主催・共催）

- ①綾瀬市主催「運転ボランティア養成講座」
- ②葉山町社協主催「送迎ボランティア養成研修」
- ③大井町社会福祉協議会主催「認定運転者研修」
- ④愛川町社会福祉協議会主催「認定運転者研修」
- ⑤秦野市主催「地域ささえあい型認定ドライバー養成研修」（全 3 日）×2 回
- ⑥平塚市主催「住民主体地域内移送支援認定ドライバー養成研修」
- ⑦NPO 法人まちづくりスポット茅ヶ崎主催「外出支援認定ドライバー養成研修」
- ⑧静岡県函南町主催「運転ボランティア養成講座」
- ⑨静岡県島田市主催「運転ボランティア養成講座」
- ⑩静岡県御殿場市社会福祉協議会主催「福祉車両運転ボランティア養成研修」

(3) その他の国土交通省認定運転者講習の開催支援（講師派遣）

- ①川崎市宮前区社会福祉協議会主催福祉有償運送・セダン等運転者研修
- ②潤正園主催福祉有償運送・セダン等運転者研修
- ③静岡県湖西市（全国移動ネット主催）
- ④静岡県南伊豆町（全国移動ネット主催）
- ⑤静岡県函南町（全国移動ネット主催）

- 【日 時】 別表 1 のとおり、通年
【場 所】 神奈川県内および静岡県内
【従事者人員】 90 名
【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
【支出額】 2,814,994 円

イ 施設送迎運転者研修

【内容】

高齢者施設で運転業務に携わる職員の運転研修や、障がい児の放課後等デイサービスの送迎に関わる施設の送迎メンバーの研修は毎年実施されており、各施設に講師を派遣しました。またデイサービスの送迎担当者向け研修の依頼を受けて研修を開催しました。通常の送迎担当者向け研修を8回、70歳以上のベテランドライバー向け研修を1回開催しました。受講者は延べ77人でした。

- 【日 時】 通年
- 【場 所】 当法人事務所、横浜市
- 【従事者人員】 56名
- 【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
- 【支出額】 1,046,403円

ウ ユニバーサルドライバー研修

【内容】

トヨタジャパンタクシーの普及に伴い、ユニバーサルデザインタクシーのドライバー養成が急がれています。高齢者や障がい児者に対応する接遇や介助について福祉的な対応を求められるユニバーサルドライバーの養成研修に講師として協力しました。研修は、神奈川県タクシー協会（横浜市、平塚市、藤沢市）、また、ラジオタクシーグループの独自研修など数多く開催され、UDドライバー数は増えています。

主催	開催数	受講者数	講師派遣
神奈川県タクシー協会	12回	800名	各2名
ラジオタクシーグループ	4回	100名	各1名

- 【日 時】 上記のとおり
- 【場 所】 横浜市、相模原市、藤沢市、平塚市、逗子市
- 【従事者人員】 11名
- 【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
- 【支出額】 258,792円

⑤ 講演会開催事業

ア フォーラムの開催（協力）

【内容】

8回目の開催となった「くらしの足をみんなで考える全国フォーラム」2019に実行委員として参加しました。実行委員会では事務局を担い、10/26と27に開催した東洋大学キャンパスでのフォーラム開催に尽力しました。

全国から347人の関係者が集い、「本音で語り合おう、知り合おう、そしてこれまでの殻をやぶろう！」をコンセプトに参加型のフォーラムを開催することができました。

また、関係団体に取り組み紹介への出展を呼びかけ、会員団体のコミバス市民の会や神奈川W.Co連合会がポスター出展しました。

- 【日 時】 10/26、27
- 【場 所】 東洋大学白山キャンパス
- 【従事者人員】 12名
- 【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
- 【支出額】 0円

⑥ 調査・研究、政策提言活動

ア 移動サービスに関わる情報の収集・学習

【内容】

(1) 移動サービスの継続性・問題点の整理と今後に向けた提案

①学習会の開催

事業の継続が困難となり、団体の解散、福祉有償運送事業からの撤退が相次ぎ、担い手の確保や事業継続に向けた相談を受けることも多くなっています。5/28の第14回総会後の学習会では、「福祉有償運送団体・事業の継続と今後」をテーマに、福祉有償運送の他に、自治体と共同して「障害福祉事業」や「介護予防・日常生活支援総合事業」に参画している団体をゲストスピーカーに迎えて意見交換を行いました。日常的に障がい児者の外出を支援している福祉有償運送団体が、自治体の障害福祉サービスの「移動支援」や「移動介護」ができるようになるための要件や資格の確認、また自治体との対話の必要性について情報共有できました。

②特別支援学校の児童生徒の送迎に向けて

横浜市立特別支援学校における児童生徒の送迎を福祉有償運送団体で担うことができないか、神奈川県タクシー協会と横浜市教育委員会事務局から提案を受け、検討を進めました。福祉有償運送団体4団体と連携して、2020年4月から横浜市立左近山特別支援学校の送迎事業を開始しました。子どもたちの通学を保障し、毎日朝夕の送迎があることで福祉有償運送団体の安定した経営にもつながる取り組みとなっています。

③福祉有償運送運営協議会委員との連携

川崎市・県央地区・湘南東部地区・湘南西部地区・横須賀三浦地区・県西地区のNPO（運送主体）代表委員を推薦しています。

8/27に県内9ブロック（市・地区）の福祉有償運送運営協議会NPO（運送主体）代表委員の情報交換会を開催し、福祉有償運送についても言及された「地域交通フォローアップ・イノベーション検討会提言書概要」についての情報共有や、福祉有償運送の課題等について意見交換を行いました。

各地で開催される運営協議会は、できるだけ傍聴し、NPO代表委員から情報を収集して状況の把握に努め、団体からの相談等には迅速に対応しました。

④全国移動サービスネットワークと連携を図り、全国での動きを行政や会員団体、相談を受けている県内外の様々な外出支援の動きを作ろうとしている団体等へ情報の発信を行いました。特に今年度は、全国から多くの相談や講師派遣依頼があり、全国移動サービスネットワークの副理事長及び理事として、「静岡県移動支援創出事業」や「高齢者等の移動・外出手段確保に関する調査研究」委員会に参加したほか、市町村等での講演活動や視察調査に参加しました。

<静岡県移動支援創出アドバイザー派遣>

派遣先	派遣日数	延べ人数
御殿場市	11日	14人
島田市	8日	11人
湖西市	9日	13人
運輸支局相談/事例報告会	2日	3人
計	30日	41人

<講師派遣等>

自治体や社会福祉協議会、協議体等、多くの地域から依頼を受け、計55件の学習会・研修会・セミナー・フォーラム等の会合に参加しました。

6/3 東村山市北部地域包括学習会

7/12 信州くらしの支え合いネットワーク学習会

7/15 日進市社協支え合い円卓会議

7/22 安曇野市協議体研修会

7/23 茅野市地域ケア会議

7/28 新潟県作業療法士会地域の移動支援対策委員会 2019年度研修会

- 8/ 2 新潟県 AD 派遣事業 燕市の移動・外出に不便を感じている方に対する支援検討会
- 8/ 3 新発田市加治川地域振興協議会
- 8/ 6 小千谷市第 1 層生活支援協議体研修会
- 8/30 新潟県 AD 派遣事業 佐渡市現地視察
- 9/ 9～10 さわか福祉財団生きがい・たすけあいサミット in 大阪
- 9 19 新潟県 AD 派遣事業 村上市住民同士で助け合う地域の足を考える研修会
- 9/20 三重県地域公共交通セミナー
- 9/26 南魚沼市社協（県社協・市社協・市 3 課と意見交換）
- 9/30 新潟市西区支え合いのしくみづくり研修会
- 10/4 やまがた移動ネット 地域交通を考えるシンポジウム
- 10/11 高齢者等の移動・外出手段の確保を考えるフォーラム in 札幌
- 10/16 全社協生活支援フォーラム
- 10/19 伊勢崎市包括ケア研修会 10/23 下仁田町民生児童委員協議会研修会
- 10/30 新潟県 AD 派遣事業 村上市移動支援に関する研修会（ワークショップ）
- 10/31 初山別村みんなで創る地域にあった移動の仕組み研修会
- 11/ 5 新潟県 AD 派遣事業 佐渡市移動支援に関する勉強会
- 11/ 7 岩手県における生活支援・外出支援のあり方を考えるシンポジウム
- 11/ 9 新潟県社協&南魚沼市社協主催研修会
- 11/13 原村社協ワークショップ&「ねこの手」第 4 回準備会
静岡県菊川市「安全・安心シニアライフ講座」
- 11/15 福祉と交通の連携セミナー in 名古屋
- 11/20 安芸市社協移動手段に関する研修会”
- 11/21 静岡県事業（壮年熟期活躍プロジェクト）南伊豆町外出支援セミナー
- 11/25 新潟県 AD 派遣事業 燕市①運営協議会設置検討会②安全運転者講習会
- 11/28 関東信越厚生局研修会
- 12/ 5 移動ネットみやぎ研修会
- 12/ 6 青森県生活支援コーディネーター養成講座
- 12/ 7 東京大学高齢社会総合研究機構 講義
- 12/ 9 鳥取県&中国四国厚生局主催研修会
- 12/11 新潟市西蒲区移動外出支援研修会
- 12/13 静岡県森町「もりもりサポーター養成講座」
- 12/14 二宮町一色小学校区地域再生協議会生涯学習連続講座
- 12/19 静岡県事業（壮年熟期活躍プロジェクト）南伊豆町視察同行
- 12/23 輪島商工会議所主催勉強会&相談対応
- 1/11 「地域でつくる高齢者の外出支援セミナー in 日田」
- 1/14 徳島県主催「徳島いきいき移動支援セミナー」
- 1/16 浜松市社協主催「生活支援フォーラム」
- 1/23 静岡県事業（壮年熟期活躍プロジェクト）南伊豆町グループワーク
- 1/24 近江八幡市「老蘇学区安寧のまちづくり勉強会」
- 1/31 松江市社協主催「地域支え合い協議会研修」
- 2/ 4 高松市社協主催「介護予防・日常生活支援総合事業促進研修会」
- 2/ 8 新潟市南区主催「南区支え合いのしくみづくりフォーラム記念講演会」
- 2/10 熊本県主催「介護予防・日常生活支援総合事業促進研修会」
- 2/12 名張市社協主催生活支援活動者フォローアップ研修会
- 2/19 福島地域福祉ネットワーク会議移動支援学習会
- 2/21 伊賀市社協主催伊賀流支え合い地域づくり研修会

3/11 能登島地域づくり協議会研修会

3/25 羽咋市生活支援協議体移動に関する勉強会

- 【日 時】 上記のとおり
- 【場 所】 当法人事務所
- 【従事者人員】 11名
- 【受益対象者】 県民、移動困難者、移動サービス提供者
- 【支出額】 660,350円

⑦会報・出版物の発行等普及啓発活動

ア 情報の発信

【内 容】

- ・ 会員向け ニュースを配信しました。
- ・ 横浜交通まちづくり協議会、神奈川県タクシー協会と共に、UD タクシーと移動サービスの普及啓発に向けたチラシを作成し、福祉事業所等に配布しました。

- 【日 時】 通年
- 【場 所】 当法人事務所
- 【従事者人員】 3名
- 【受益対象者】 県民、移動サービス提供者
- 【支出額】 0円